

アゼルバイジャンのビール生産

本トピックでは、アゼルバイジャンにおけるビール生産についてご紹介します。

1. 国家統計委員会によれば、2020年に国内の飲料生産は売り上げベースで前年比13.7%減少する中、ビール生産量は2019年比7.7%増加して、アゼルバイジャン史上最高の5,480万リットルに達しました。
2. 国内の主要ビール産地は首都バクーですが、ナヒチバン、カチマス、イエブラフなどでも生産されています。国内最大のビール生産者であるカールスバーグ・アゼルバイジャンのビール生産工場はアブシェロン半島に位置しており、年間8,000万リットルの生産能力を備え、同社は250名の従業員を直接雇用しています。同社は、アゼルバイジャンのビール市場における同社製ビールの市場占有率は63%(2019年)であるとしています。アゼルバイジャンで販売されている同社製のビールブランドには、“Xirdalan”, “Tuborg”, “Baltika”, “Zhigulevskoe Firmennoe”, “Carlsberg”, “Holsten”, “Kronenbourg Blanc”, “Seth&Riley’s Garage”などがあります。
3. アゼルバイジャンのビール貿易に目を向けると、輸入額が輸出額を圧倒しています。2020年のビール輸入額は約3.7百万ドルでしたが、同年の同輸出額はポーランド向けの4,000ドル程度に過ぎません。アゼルバイジャンのビールの輸入先はロシア、トルコ、ドイツ、オランダ、ベルギー、メキシコ、ベラルーシ、英国などです。

(出典:国家統計委員会, カールスバーグ・アゼルバイジャン)

(以上)